

「倉敷市とハローワークとの一体的実施事業」 （ワークプラザたましま、福祉・ジョブサテライトみずしま）について

倉敷市長 伊東 香織



倉敷市では平成21年6月に国と協同して、本市玉島支所に「ワークプラザたましま」を設置し、生活・就労相談、職業相談、職業紹介などを行ってきたところではありますが、平成23年10月からは、本市とハローワークとの一体的な実施事業として、利用者ニーズを踏まえた就労支援を行うため

「求人・求職マッチング機能の強化」に取り組んでいます。この事業は、「倉敷市」と「ハローワーク倉敷中央」、さらに中小零細企業に対する福利厚生サービスを提供する「倉敷市勤労者福祉サービスセンター」の3者が連携し、倉敷市やサービスセンターが把握する求職・求人ニーズをもとに、ハローワークが玉島地区の企業に働きかけて求人開拓を行うことにより、1人でも多くの求職者を就労に結びつけようとするもので、地元企業の人材確保と求職者へのサービス向上に大きな成果をあげております。

また、平成25年8月には、本市水島支所に「福祉・ジョブサテライトみずしま」を開設しました。

「福祉・ジョブサテライトみずしま」は、「倉敷市」と「ハローワーク倉敷中央」が協同で実施する「生活保護受給者等就労自立促進事業」に基づく就労支援窓口です。

生活保護受給者数は過去最高水準に達し、稼働年齢層で就労支援を必要とする者が増加しており、切れ目なくきめ細やかな就労支援により生活保護受給者等、生活困窮者の自立支援を後押しする拠点としての機能を果たせるものと期待しております。

本市は、これまでも、就職面接会の開催など、ハローワークと連携し、市民の雇用・生活の安定に取り組んできたところですが、このような一体的な取り組みを通じて、ハローワークとの連携がより強化され、きめ細かなサービスの提供が可能になったと感じています。今後とも、市と国がそれぞれの強みを活かしながら、地域の実情にあった新しい形の行政サービスを行うことにより、市民が安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでまいりたいと考えています。